

# 第1回伊万里市立学校規模適正化協議会会議録

1 日 時 令和元年7月29日(月)  
開会 13時00分  
閉会 15時00分

2 場 所 大会議室

3 出 席 24名

4 欠 席 3名

No.	氏 名	出席	No.	氏 名	出席	No.	氏 名	出席
1	上野 景三	○	10	山口 知子	○	19	清水 正彰	○
2	墨谷 誠一	○	11	小杉 道久	○	20	黒川 敦子	○
3	坂本 浩幸	○	12	達 信子	○	21	岩野 一	○
4	坂本 和人	○	13	掛園 真樹	欠	22	岩永 孝雄	○
5	前田 勉	欠	14	石井 司朗	○	23	森 俊介	○
6	松本 啓二	○	15	松尾 哲司	○	24	川内 幸人	○
7	松尾 千穂	欠	16	田中 啓三	○	25	松尾 正司	○
8	西 靖幸	○	17	福地 佳野	○	26	西田 武利	○
9	田中 真紀	○	18	口石 さおり	○	27	鴨川 幸司	○

議事録署名者 11番 小杉 道久

9番 田中 真紀

## 5 事務局

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 長	松 本 定	教 育 部 長	中 野 大 成
学 校 教 育 課 長	中 尾 聡 彦	指 導 主 事	古 賀 美 和
指 導 主 事	西 大 輔	学 校 教 育 係 長	内 山 直 樹
学 校 教 育 係	杵 嶋 孝 太	教 育 総 務 課 総 務 企 画 係 長	樋 口 三 紀 子
教 育 施 設 課 長	吉 永 大 輔		

## 6 その他出席者

政策経営部副部長 木寺 克郎  
 企画政策課長 松本 公貴  
 企画政策課企画1係長 西尾 義久

## 7 役員選出

- (1) 会 長 小杉 道久  
 (2) 副会長 田中 真紀

## 8 協議事項

(1)	伊万里市立学校規模適正化協議会設置要綱及び運営要領について
(2)	今後の本市の行財政運営について
(3)	前回までの協議会で付帯事項となっている 滝野中学校の統合問題について
(4)	今後の伊万里市立学校の在り方について

## 9 その他

次回開催予定 令和元年10月21日(月) 14時から

<p>部長</p>	<p>みなさん、こんにちは。</p> <p>各種団体の皆様には、協議会への委員への推薦をいただきまして、ありがとうございました。委員の皆様の名簿につきましては、お手元の資料の18ページに掲載をさせていただいております。</p> <p>27名の方に委員をお願いしております。</p> <p>どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、最初に事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>(事務局の職員が挨拶を行う)</p> <p>以上、事務局です。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、ただいまより、令和元年度第1回伊万里市立学校規模適正化協議会を開催いたします。</p> <p>まず、辞令交付に移りたいと思います。</p> <p>代表で、伊万里市小中学校校長会代表の 坂本 浩幸 様に交付をさせていただきたいと思います。前の方をお願いします。</p> <p>(教育長から辞令書が交付される)</p> <p>他の委員の皆様には、お手元の封筒の中に辞令書を入れておりますのでご確認ください。</p> <p>それでは、松本教育長より挨拶を行います。</p>
<p>教育長</p>	<p>こんにちは。</p> <p>本日は、「伊万里市立学校規模適正化協議会」の開催にあたり、皆様にはご多忙中にも関わらずご出席賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>本協議会は、昭和56年に設置され、その時々様々な状況を鑑みながら、大規模学校解消のための分離や、少子化等を踏まえた統合など、小中学校の規模適正化についての審議が行われてきました。</p> <p>この協議会の答申による学校規模適正化実施計画を受けまして、これまで、大坪小学校や伊万里中学校の分離、また、黒川小学校と東黒川小学校、立目分校の統合、大川中学校と松浦中学校の統合、南波多小学校と波多川小学校の統合、黒川中学校と波多津中学校の統合、波多津小学校と波多津東</p>

小学校の統合、そして、南波多小学校と南波多中学校を義務教育学校として新設するなどを進めてきたところでございます。

前回の平成24、25年度開催以来の協議会開催になりますが、今回の協議会では、前回までの審議で付帯事項となっています、滝野中学校と国見中学校との統合問題について協議していただくこととなります。

また、児童生徒数の減少や校舎の老朽化等の状況を踏まえ、市全体の学校の望ましい規模や配置、教育環境や教育効果などについて、総合的に協議いただき、今後の伊万里市立学校の在り方について基本的な考え方や具体的な方策を検討していただくこととなります。

さて、このあと諮問書を提出させていただきますが、前回協議会の時と比べまして、社会状況も大きく変化し、学校環境も同様に変化してきておりまして、特に次の点から協議会の再開催に踏み切ったわけでございます。

1点目は、児童・生徒数の減少でございます。例えば、平成14年度の市内小学校児童数は3,772人で、17年後の令和元年度が3,214人となっています。また、中学校については、平成14年度が2,100人で、令和元年度では1,433人となっています。小学校では、558人の減少、中学校では、667人の減少で、小中学校では1,225人の減少となります。

2点目は、校舎の老朽化に伴う補修工事や改築などを考える必要があることで、併せて、伊万里市の財政状況及びファシリティマネジメントの観点から、学校に限らず、市内公共施設の保有量の縮小、効率的な利活用の推進、複合施設の推進等が計画されているということです。

委員の皆様には、これらのことを踏まえながら、本市の児童生徒が、AIの発達に代表されるように、急速に変化していく社会を生きていくために必要な力を、どのような教育環境で身につけさせていくのかという観点から検討していただき、これからの学校の在り方についての基本的な考え方や具体的な方策について答申をいただきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

なお、今回は、佐賀大学教育学部教授の上野景三先生にも、委員として加

	<p>わっていただいております。</p> <p>先生からは、全国の事例や、今後の学校の在り方について意見を頂戴できればと思っております。</p> <p>今日から始まりまして2年間お願いをしております。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
部長	<p>続きまして、役員を選出に移りたいと思います。</p> <p>協議会の設置要綱によりまして、協議会の会長と副会長を選出したいと思います。</p> <p>まず、会長でございますが、どなたかご推薦等ございませんでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>よろしければ、事務局の方に一任ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(賛同の声)</p> <p>それでは推薦をさせていただきたいと思います。</p> <p>委員名簿をご覧くださいと思います。</p> <p>11番の伊万里市退職校長会代表の 小杉 道久 様を推薦したいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>(賛同の拍手)</p> <p>それでは、小杉会長、前の方をお願いします。</p> <p>次に、副会長ですけれども、こちらについても事務局に一任でよろしいでしょうか。</p> <p>(賛同の声)</p> <p>名簿の9番、伊万里市小中学校連合PTA母親委員会の 田中 真紀 様をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>田中様も前の方をお願いします。</p> <p>それでは小杉会長、一言ご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>ただいま会長に推薦をいただきました小杉でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>この重要な協議会の会長として、務まるか非常に不安もございますが、皆</p>

	<p>様方のご支援・ご協力を得て、務めを果たしたいと思っております。</p> <p>ところで話は変わりますけれども、時代の進展とともに、全国的に、児童生徒の減少が非常に目立ってきて、小規模校が増えてきているところでございます。</p> <p>そのような教育環境をどのようにしていくかということをお話し合う場であろうかと思っております。</p> <p>皆様方の積極的な意見をいただき、この協議会が充実したものになりますように、よろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ですけれども、挨拶に代えさせていただきます。</p>
部長	副会長もお願いします。
副会長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>伊万里市の母親委員長をしております田中といいます。</p> <p>このような場は初めてで、お役にたてるように努力したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
部長	<p>会長、副会長のお二人、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、諮問書の提出に移ります。</p>
教育長	(諮問書を読み上げる)
部長	<p>それでは、ここで進行を会長に代わりたいと思います。</p> <p>会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、協議に移りたいと思います。</p> <p>本日の議事、進行について書いてありますので、それに即して進めさせていただきます。</p> <p>終了の時間は、事務局の方から説明がありましたけれども、14時30分、遅くとも15時には終了したいと考えておりますので、大変短い時間ではありますけれども、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、7番の協議ということで、(1)伊万里市立学校規模適正化協議会設置要綱及び運営要領について、事務局の方からよろしくお願いいたします。</p>

<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>学校教育課長の中尾でございます。</p> <p>この会の設置目的や役割について、皆さんと共に共通理解を図りたいと思いますので2ページの「伊万里市立学校規模適正化協議会運営要綱」をご覧ください。</p> <p>「伊万里市立学校規模適正化協議会設置要綱」第1条に「設置」、第2条に「所掌事務」、それから第3条「組織」、それから第4条「任期」、ということで第8条まで要綱として載せております。</p> <p>第3条の「組織」については、4ページの別表(第3条関係)をご覧ください。</p> <p>皆さんには、それぞれの団体からの代表ということで出席いただいております。</p> <p>この委員につきましては、それぞれ第3条「協議会は、委員30人以内で組織する。」「2 委員は、別表に掲げる者をもって充て、教育委員会が委嘱又は任命する。」となっております。</p> <p>第2項の「委員の委嘱」についてですが、前回の委員委嘱を継続したものがほとんどではありますが、変更点についてご説明をさせていただきます。</p> <p>「学識経験者」ですが、今回は、全市的な学校規模適正化に係る議論に発展することから、大学教授1名を加えております。全国の事例や、今後の学校の在り方に精通された佐賀大学の上野先生に出席いただいております。</p> <p>また、「その他教育委員会が認める者」ですが、現在、「市婦人連絡協議会」が存在しませんので、「いまり女性ネットワーク」から2人に出席いただいております。</p> <p>また、新たに、これまでに分離・統合した中学校(伊万里中、啓成中、青嶺中、東陵中)に南波多郷学館を加え、学校運営にご協力していただいている「学校評議員」を務める方々を4人から5人に増員しております、そして、前回の協議会の「付帯事項等に係る地域の代表」として、国見中学校区と滝野中学校区から、それぞれ学校評議員代表2人の計4人の方に</p>
-------------------------	---

	<p>出席いただいております。</p> <p>27名の委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>続きまして、運営要領、1の「協議会の基本的態度」について確認をさせていただきたいと思ひます。「(1)本市の小学校、中学校及び義務教育学校を分離又は統合し、学校規模を適正にするとともに、少子化に伴う小規模学校の増加や社会的背景の変化に伴う小中一貫校や義務教育学校等の新しい学校づくり等、今日的課題に対応した学校の規模適正化を図ることにより、本市児童生徒の良好な教育環境を提供し、教育の向上を図ることを目的とする。」とあります。</p> <p>来年度までの2年間をかけて、本協議会において、答申をいただき、その答申をもとに、教育委員会で協議をし、決定していくという流れになります。もちろん、本協議会で出された答申は、教育委員会においても重視されていくということです。</p> <p>以上、事務局から設置要綱ならびに運営要領について説明をさせていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほどの事務局の説明について、何かご質問等はありませんでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>ないようですので、(2)今後の本市の行財政運営について、政策経営部から説明をお願いします。</p>
政策経営部	<p>(『今後の本市の行財政運営について』に沿って説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、いろいろな視点から行財政運営についての話であったろうと思ひます。</p> <p>簡単にまとめてお話をしますと、学校あるいは公民館等の公共施設は非常に多いと、それに対する維持管理費が大変である、また、市の財政状況も人口減に伴って余裕がないということで、いろんな事業の見直しとか、あるいは公共施設の最適な配置を考えていかなければいけない。</p> <p>特に学校等においては、統廃合等を考えてほしいということではなかった</p>



	<p>かなと思います。</p> <p>これらのことについて、質問やご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
上野委員	<p>表の見方がわからないところがありますので教えていただきたいのですが、12ページの『公共施設の延床面積』のところがございますが、建物数の意味するところがよくわからないんですね。</p> <p>例えば小中学校は303校あるという意味でしょうか。それとも校舎が303棟あるという意味なのか。</p> <p>そうしますと、市営住宅は144棟あるというような、つまりこれ（数）が意味することがよくわからなかったということが一つです。</p> <p>それからもう一つは、次の13ページですけれども、公共施設管理計画はもうお作りになっているかと思いますが、そこでは整備方針が出されているという理解でよろしいですか。個別の縮小についてはこれからという議論ですね。</p> <p>そうしますと、私ども先ほど辞令をいただきましたけれども、令和3年まで、辞令が2年間となっていますよね。</p> <p>これから議論を始めるというところですが、この13ページを見ますと、「市すべての公共施設の再配置の方向性を今年度中に策定予定」と書いてございますので、私どもは、今年度中には結論は出ないかと思いますが、ここはどういう風に考えておられるのかということですね。</p> <p>それから3つ目は、公共施設管理計画は、学校でも何であっても聖域なしで計画を作れというお話だったろうかと思いますが、14ページ以降のデータを見ますと、人口の推移が出ていますので、このデータだけですと人口は減っているの、人口が減少する地域であるとか、人口が減少する年齢層に該当する施設は、優先的に縮減しますよという話にしかならないわけですね。</p> <p>そうしますと、複合化の議論が見えにくくなりますし、公共施設を縮減するときは、それが持つ稼働率なども併せて議論されなければならないと思いますけれども、これ（データ）だけ見せていただきますと、人口減に伴って、学校及び教育関係の施設は縮小して当たり前だろうという議論にし</p>

	<p>かならない、そういった議論の枠を政策経営部としてははめていきたい、縮小を前提に議論をしてほしいということでしょうか。</p>
政策経営部	<p>まず12ページの建物数でございます。</p> <p>当然ながら303校ということではございませんので、学校の中にもいろんなものがございます。(校舎が)複数棟ある学校もありますし、例えば、倉庫なども建物にカウントしておりますので、かなりの数になっているということでございます。</p> <p>市営住宅に関しては、大きなアパートタイプのものであれば、戸建てタイプのももありますのでこのような数字になっています。</p> <p>それと、総合管理計画については、平成29年3月に策定しておりまして、13ページが総合管理計画の結論でございます。</p> <p>それに基づきまして、既に取り組んでいるものを掲載しており、この中の一環として、本日の会議を教育委員会にお願いしているものです。</p> <p>先ほどありました人口につきましては、ミスリード気味になっているといえますか、政策経営部の意図として、学校を減らしていく方向にしか議論が導かれないのではないかとございまして、そのような捉えられても仕方ないような資料にはなっているかと思えます。</p> <p>そのあたりについては議論したいと思えますし、ぜひ、統合にご協力いただきたいというのが本音でございます。</p> <p>13ページの「今年度中の策定」との関係ですが、今年度中に策定しますのは、施設類型ごとにどういった方向で行くのかというのを策定したいと思っております、個別の内容については、その翌年に提案等示しまして、皆様のご意見を伺って策定をしたいと思っております。</p> <p>そのたたき台になる前の方向性については、今年度中に伺いたいと思っております次第でございます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>他に何かありましたらどうぞ。</p> <p>(なし)</p>

	<p>それでは、(3) 前回までの協議会で付帯事項となっている滝野中学校の統合問題について、(4) 今後の伊万里市立学校の在り方について、事務局の方から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>まず、これまでの規模適正化協議会の動きを振り返ってみたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>資料の6ページをご覧ください。</p> <p>簡単に振り返りたいと思います。</p> <p>昭和56年12月1日に、伊万里市小中学校規模適正化協議会が設置、施行されております。</p> <p>その後、昭和57年8月1日、大きく4つ、1つ目は、黒川中学校、波多津中学校を統一する。2つ目、南波多中学校、大川中学校、松浦中学校を統合する。3つ目、国見中学校、滝野中学校を統合する。4つ目、伊万里中学校を「伊万里小学校、牧島小学校両校区を通学区域とする学校」と「大坪小学校、大坪第二小学校、大川内小学校の3校区を通学区域とする学校」に分離する。</p> <p>という方針が出ております。</p> <p>昭和59年4月に、2つの分校が滝野小学校に統合しております。</p> <p>なお、ここには載っておりませんが、同月、大坪小学校から分離し、立花小学校が建設されております。</p> <p>昭和61年2月、大川中学校と松浦中学校の統合を行うべきであるということになり、南波多中学校については合意が得られず、南波多中学校を除くことで承認されたという経緯があります。</p> <p>平成3年、伊万里中学校が分離し、啓成中学校が建設されております。</p> <p>平成7年12月21日には、黒川中学校と波多津中学校統合問題について、協議会が開かれました。</p> <p>翌、平成8年4月には、統合すべきという答申が出され、現在の青嶺中学校が建設されております。</p> <p>平成10年11月26日には、国見中学校と滝野中学校の統合問題、さらに、平成12年8月28日には、国見中学校と滝野中学校の統合問題は継</p>

続審議となりました。

さらに、平成13年2月27日、「国見中学校と滝野中学校を統合するということについては、その特色を考慮し、現状どおり存続させることが望ましい。ただし、将来、著しく生徒数の減少が生じた場合は、その時点で検討すること」となっております。

そして、平成24年7月24日には、「伊万里市立の小中学校規模適正化のための具体的方策」、「南波多中学校の位置づけ」、「国見中学校、滝野中学校を統合する」について、審議がなされました。

平成26年2月28日、「南波多中学校の位置づけ」については、南波多中学校は、南波多小学校との小中連携をさらに生かした特色ある小中一貫校として存続させる。また、「国見中学校、滝野中学校を統合する」については、「滝野中学校は、山間地の小さな学校の特色を生かしたこれまでの滝野小学校との小中連携教育を生かし、小中一貫校として存続させる。」との答申がなされ、付記として、「ただし、将来、著しく生徒数の減少が生じた場合は、その時点で検討すること。」とあります。

滝野中学校の現在の生徒数については、10ページをご覧ください。こちらありますように、平成25年は12名在籍しておりましたが、現在は6名と半減しております。学校としては、1年生と2年生で複式学級ということになっております。

また、関係のある滝野小学校については、平成25年は16名、今年度は11名となっております。ただ、来年度の1年生の入学者数については、現在は予定がないという状況です。

8ページ、9ページについては、学校規模適正化の歩みということで、学校の分離、統合の歴史などを載せております。

最近では、平成29年4月の波多津小学校の新設、平成30年の南波多郷学館の新設です。

10ページにつきましては、伊万里市内の児童生徒数の推移を載せております。

11ページは、今年度の各学校の児童生徒数の一覧です。

	<p>12ページにつきましては、市内の学校規模の現状として、市が考える現実的学校規模を下回る学校の児童生徒数の推移を示しております。</p> <p>13ページは、学校別施設現況表、14ページは伊万里市立学校の現状として、学校教育法施行規則に定められている、小中ともに12学級以上18学級未満を満たしていない学校が、小学校で15校中11校、中学校で8校中7校となっております。</p> <p>続いて、市が考える現実的な規模である小学校では、複式学級にすぐにならない規模で、1学年1学級以上、1学級20人程度、全校で120人程度です。</p> <p>中学校では、全ての学年でクラス替えが可能な複数の学級が最低限維持され、かつ、多様な学習形態や部活動等の選択の幅が広がりやすい規模とし、1学年2学級以上、1学級20人程度、全校で、下限として、120人程度を満たしていない学校が、小学校で7校、中学校で5校あります。</p> <p>15ページは、小規模学校の一般的なメリット・デメリット、16、17ページは滝野中学校に関する最終の諮問書と答申書でございます。</p> <p>これらの資料等をご活用いただきながら、審議をよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、(3)と(4)について説明をいただきましたが、まず、(3)についてご意見等を賜りたいと思います。</p> <p>滝野中学校の統合問題についてということで、今日が初めての協議会ということで、なかなか意見等ににくいという面もあろうかと思いますが、よろしく願います。</p> <p>何かございませんでしょうか。</p> <p>国見中学校区、滝野中学校区からも出席していただいておりますが、何かご意見等ありましたら願います。</p>
<p>西田委員</p>	<p>小中一貫校滝野校の評議員を務めております西田です。</p> <p>本日はいろいろとありがとうございます。</p> <p>先ほどいろいろご説明いただきましたが、まだ始まったばかりでよく理解</p>

	<p>できていませんが、この問題に関しては、常々話をされてきました。一度話が出た20年ほど前には、流れたという経緯もございます。</p> <p>今回の説明を聞いておりますと、今回は滝野中学校だけなんですよね。小学校に関してはまだそういう（統合という）お話は出てないということでしょうか。</p> <p>滝野校というのは、地域の活性化を担っております。</p> <p>もし、統合という問題が起きた時には、地域が廃れていくという問題も抱えているわけですよね。そういう中で、十分に協議をして、地域の方々ともお話をしながら進めていきたいということになるわけですがけれども、そういうことで皆様のご理解を得たいと思います。</p>
会長	<p>滝野中学校の統合のみと捉えてよいのかという質問でしたが、いかがでしょうか。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>前回までの付帯事項として残っている問題が滝野中学校と国見中学校との統合問題ですので、まずは、滝野中学校と国見中学校の統合についてご意見を伺いたいということ。それから、滝野小学校が（滝野）中学校と切り離して考えられるか、そういうことではない（切り離せない）と思います。</p> <p>現に、来年度の新1年生の入学者数がゼロであるということを考えますと、小学校の方も併せてご意見を伺うことができれば幸いかと思います。</p> <p>それから、学校が無くなると地域が（衰退する）というご意見も、これまで協議会の中で幾度となく出ております。</p> <p>もちろん、学校が地域の方々の様々な思いの中で成り立っているわけですので、今日、出席をしていただいております滝野校の坂本校長先生の方にも、この件について、学校関係者と地域の方々と協議をしていただく場を設けていただくように、お願いをしているところでございます。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>滝野中の校長先生、何かご意見とか考え等ございましたら述べていただきたいと思いますが、現状なり。</p>

坂本和人委員

滝野中の校長の坂本でございます。

本日はどうもありがとうございます。

今話に出ましたけれども、滝野の統合については、やはり、まず、滝野地区の保護者、地域住民の方の意見を聞くべきだろうということで、8月末から9月上旬にかけて、「滝野の教育を考える会」というのを開きたいと考えております。その場で、アンケートを取りながら、保護者の意見とか地域の意向はどうかということのを学校の方でまとめていきたいなという風に思っております。

今現在、話に出たとおり、滝野の小学校、中学校の子ども数は減っています。実を言うと、先ほど申されたとおり（来年度の小学校への入学者数は）ゼロです。1学年1名というのが小学校に3クラス、中学校に1クラスあります。

つまり、滝野校でとらえた時に、学級に1人というのが4クラスあるということなんです。

そういうことを考えれば、学校としては若干厳しい面もあります。

つまり、子どもたちが集団で活動する場が若干欠如している。

当然、子どもたちがクラスの中で考えを練り上げる場がない。

あるいは、モデルとなる人物の存在が非常に少なくなってきたというように、学校としてはそういったデメリットがあるのが現状です。

ただ、私は校長として2年目ですが、滝野は不登校の子を受け入れる学校です。

昨年度、ある学校で不登校になられた子どもさんが、うちに転校してきて、毎日登校するようになったというのも事実です。

つまり、子どもたちが、こんな小規模な学校で、いわゆる地域の環境とか、山間部のマイナスイオンがいっぱいある学校で英気を養っているというのも事実です。子どもたちが元気になっているというのも事実です。

それと、小規模校ですので、子どもたちの出番は全部あります。

どんな子どもでも自分の役割があり、自分の出番があるというのも、本校ならではのいいかなと思っています。

	<p>それと、独自に茶園作業があったり、黒米の稲作があったりと地域とのつながりも非常に大きい学校でもあります。</p> <p>ですので、学校だけではなくて、地域と共に生きていく学校というのが本校の特色かなと。</p> <p>地域の皆様方と一緒に在ることで、子どもたちが元気をいただいて、当然、子どもたちの活動で、地域にも元気を与えているというのも事実だと思います。</p> <p>そういったところを考えると、この滝野校の存続については、今日あだこうだ言うよりも、滝野の意見をしっかり集約をして、この場に持ってきて、この場で議論をしていただけたら幸いに思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も前からこの評議会には委員として参加しておりましたけれども、いかがなものでしょうか。</p> <p>前から感じておったのは、協議会で答申を出す、地域の意見を全く聞かないということではありませんけれども、全市的に考えて、どうするかというのを出した上に地域の意見を加味すると。</p> <p>最初に地域の意見を聞いたりすると、なかなか協議会そのものが進まないんじゃないかという（懸念がある）。</p> <p>私は波多津町（出身）ですけれども、波多津小学校と波多津東小学校が統合したんですけれども、その時に波多津町としてどういう風に考えるかというような意見は、答申が出た後に申し上げたかと思います。</p> <p>それぞれの地域は地域として考えられても構わないと思いますけれども、全市的に、各団体から委員さんがここにお集まりでありますので、協議会で、伊万里市全体をどうしようと思っているのか、滝野の統合のことも、伊万里市全体として捉えて、皆さんで共有するというのが建前じゃないかなというような感じもするわけです。</p> <p>坂本校長の話聞いてみると、地域の意見をよく聞いて取り入れてほしいというような感じがありましたけれども、いかがでしょうか。</p>



<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>この協議会の性格に関わる部分かと思えますけれども、実際の動きとしては、この協議会の審議と（滝野の教育を）考える会の審議が同時並行的に進んでいくんだろうと思います。</p> <p>ただ、この協議会については、先ほど会長からもお話がありましたが、全市的に見て、客観的な視点も持ちながら、伊万里市内の学校をどうしていくのか、規模の問題であるとか、これから生きていく子どもたちでするので、この後10年先の社会を生きていく子どもたちにとって、今の教育環境がどうなのかとか、そのあたりについての議論をしていただきながら、全市的な視点で、本協議会は進んでいくんだろうと。</p> <p>この協議会での議論等を、滝野から今日出席していただいている委員の方々は、持ち帰っていただき、滝野は滝野で議論をしていただければ結構かと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>最初に本協議会の動きについて、年代を追って説明があったところですが、その説明を聞いてみると、やはり答申では「統合をすること」となっても、それを地域に持って帰ると、「適切ではない」ということで、統合がうまくいっていないというのが、至る所にあるわけなんですね。</p> <p>特に滝野の問題については、過去に答申で「統合すること」と出ているけれども、最終的には統合していないというのは、やはり地域で持ち帰り協議をしたら「その時ではない」と。</p> <p>滝野に限らず、他の中学校の統合もありましたけれども、それも然りだろうと思っております。</p> <p>この協議会では「こことここが統合する」と答申が出ても、実際問題としては、そこに加わらない、参加しないという地区もあったりしているのではなかろうかという風に考えております。</p> <p>先ほど課長（事務局）から説明がありましたように、お互いに歩み寄って進めていくということが妥当だろうと考えております。</p> <p>それと、さっき西田さんから、学校が無くなることに対する寂しさなり、あるいは地域の活性化が無くなっていくという不安があらわれるみたいですが、今日は分離統合の方から委員として5名の方が出席されており</p>

	<p>ますので、自分たちの地域から中学校が無くなっていくということだろうと思いますけれども、その辺の状況についていかがでしょうか。</p> <p>分離統合をされたところの委員の方にお聞きしたいと思うんですけれども、ご意見がありましたらよろしくお願いします。</p>
黒川委員	<p>啓成中学校の分離統合ということで来ておりますけれども、実は私、前回の協議会の時にも入っていたんですね。それで、小杉先生（会長）も言われたように、前回は、滝野の保護者の意見というのが会議の中で出されていたんですね。そういうの（保護者の意見）が今回出されていないので、坂本先生の方から「地域に持って帰って」ということになれば、前回と同じような、小杉先生も言われた、前回も最終的には答申として出したけれども、結局、滝野は（統合が）持越しとなったので、同じことをやっているようにしか私には感じられなくて。</p> <p>先ほどから皆さんの意見を聞いていたんですけれども、あの時（前回）も意見を出したのは、子どもが平等な教育を受けられないというのが一番じゃないかなと私は思ったんですね。そういった意見をその時言ったんですけれども、また、今回も同じような状況になるんじゃないかなという不安はあります。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。</p>
石井委員	<p>伊万里市区長会連合会会長をしております石井でございます。</p> <p>私は、滝野校がある地元の東山代町の区長会長もしておりますが、先ほど西田さんからの話にもあったように、区長会の中でも、この件につきましては何度か議論をしました。</p> <p>しかし、区長の中には、「地域が廃る」とか「学校が無くなれば寂しい」という意見が出てですね。</p> <p>しかし、東山代小学校区の区長からは「もう統合すべきじゃないか」と、現状を見てですね、そういう意見も出ていました。</p> <p>30年ほど前、平成になる前まで、西部地区の学校規模適正化協議会という組織が二里町と東山代町と合同で組織を作って、国見中と滝野中の統合問題について協議をしておりましたが、滝野地区の賛同が得られなかった</p>

という状況の中で、頓挫をして、平成になってから一度もその協議会は開催されなくて、既にもう解散して無くなっております。

しかし（過去の）答申を見ておきますと、なかなか事情があって進まないということですね。

先ほどちょっと説明がございましたが、伊万里市の公共施設等の総合管理計画の中で、生徒数が減少をして、近い将来1学級あたりの数が減少して、複式学級となった場合、近隣学校と統合するということが明記されておりますし、また、第6次の総合計画の中でも、そういった意味合いのことが書いてあります。

実際、滝野校の現状を見てみますと、小中学校合わせて17名程度の小規模校という現状で、以前とすると著しく減少していると。

聞くところによると、5、6年後には生徒数が5、6名になるという話を聞いておりますが、そうなると、もうこれは学校じゃないですよ。ですから、実際、複式学級も行われているという中で、地域側のことも大事ですが、やはり、子どもたちの将来を考えると、ある程度大きな学校で勉強をすることも大事じゃないかなと思います。

仲良し学級で、小中一貫校で9年間同じ顔ぶれで過ごすのもいいでしょうが、大勢の中で揉まれるということも、将来的に、一般社会人になった時に大事なことだろうと、私個人的には思います。

特に中学生なんかは、部活動も卓球クラブだけということで、野球をしたい、バレーをしたいと言ってもできないという状況で、子どもたちが可哀そうだろうと、私常々思っております。

現実、他の学校に通学している子もいます。また、滝野から東山代小校区の方に転居をしたり、家を新築したりしている保護者さんもいらっしゃいます。そういう状況ですから。

また、滝野地区の中にもですね、「統合反対」という方も現実いらっしゃいますが、反面、現状を見てみますと、「もう統合すべきじゃないか」という意見も何人も聞きます。子どもたちが可哀そうだ。

そういったことで、特色のある学校として残していきたいという意見はあ

	<p>るとは思いますが、こういった現状の中で、やはりもう小学校の統合もですが、まず中学校を統合させて、小学校につきましても、この後東山代小学校の改築が控えています。来年度からですか。5、6年後には完成するという予定です、あくまでもですね。ですから小学校の改築と合わせて、小学校の統合もぜひ計画の中に取り入れて、進めていただきたいと思いますとおります。</p> <p>中学校につきましては、他の学校はスクールバスを出してあります。委託をしてですね。膨大な委託費が出されております。</p> <p>東山代町の場合は、元気バスというのを運行しております。町の方で組織を作っていますね。黒字で今のところやっておりますが、その元気バスをスクールバスに併用という形で利用すれば、地元の利用者も、登下校時の便数も増えるということで、今は3日しか走っていません、1週間に。それが毎日走るということで、地域住民にとっても非常に喜ばしいことだと思っています。</p> <p>元気バスも市の補助金をいただいて運行していますが、スクールバスの増便等については、教育委員会の方で配慮をしていただければと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>石井委員さんの方からは、小学校もひっくるめて、時期的には擦れるにしても、統合すべきではないかという意見だったろうと思います。</p> <p>他にご意見ございませんでしょうか。</p>
<p>松尾哲司委員</p>	<p>伊万里市区長会連合会の松尾です。</p> <p>坂本先生がおっしゃった不登校の子が毎日通学するようになったということで、市の方の考え方を知りたいわけですが、今、知的障害、情緒障害、特別支援学級の生徒がですね、全小学校で142名いるんですね。その中で、人によっては、そういう環境の変化で、非常に伸びる子がいるのではないのかなと。</p> <p>先ほど（坂本和人）校長先生がおっしゃったように不登校の子が毎日学校に行くようになったよと。そういう環境の変化で伸びることもあるのではないかということで、人数だけ、生徒数だけを考えると、確かに統合</p>

	<p>した方がいいと私も思うわけですが、ただ、先ほど（坂本和人委員が）おっしゃいましたように、不登校の子が毎日通うようになったということもあるのではないかと。</p> <p>であれば、そういう学校も必要ではないのかなと思うんですが、そのあたり教育委員会の考え方はいかがでしょう。</p>
会長	<p>（坂本和人）校長先生、ちょっとお聞きしたいんですけども、他の学校から、いろんな事情によって校区外から来ている子どもを入れて17名でしようか。</p> <p>そうすると何名くらいから他の区域から来ているんでしょうか。</p>
坂本和人委員	今3名です。
会長	<p>3名が区域外から来ているということですね。</p> <p>先ほどのことについて、事務局からお願いします。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>先ほどご意見がありました、特別支援学級の子どもさん、それから不登校の子どもさん方につきましては、特別な事情が認められる場合は、例えば大きな集団の中での生活が困難とか、そういう事情がある場合は、教育委員会としては校区外の通学を認めております。</p> <p>ですから、先ほどの質問につきましては、大きな学校になじめない子については、滝野校の方に現在3名、遠距離にはなりますけれども、その学校の環境が合っているという判断で、校区外の通学を認めているということです。</p> <p>ですから、教育委員会としては、そのことについて否定的な考えは持っておりません。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p>
森委員	<p>東陵中校区から来ています森です。</p> <p>まず滝野の校舎についてなんですけども、昨年、非常に近くで土砂崩れが起きていますよね。あと、体育館なんかが、非常に、耐震性なんかを考えた場合、実は一番警戒が必要な校舎なんじゃないかなと思っています。</p> <p>あと、今の子ども数に比べて（校舎の）規模が大きくて、使いにくいん</p>

	<p>じゃないかと思えますし、先生方も子どもの数の分しかいらっしやいませんし、地域の方も世帯も少ないですし、特色を活かそうにも、地域に任せるということでは、非常に思うようにいかないんじゃないかなというのがまずあるので、これをもし残すということで答申を出すならば、全市的にバックアップすることがまず必要だろうなと思えます。</p> <p>それと、山間部の学校というのは東田代とか立目とか日向郷とか至る所が、「まあ仕方ない」ということで統合されてきて、滝野は最後に残された山間部の学校だと思うんですけど、なので、それをどう活かすかというのは考えないといけない。学校をどうするかということとまちづくりをどうするかということは一体で、去年の南波多の小中一貫の決断というのも、結局、まちを挙げて学校を支えようというところでの発想で、学校を残すことでまちも元気になるよと。</p> <p>現実、人が減っているというのはなかなか難しいですけども、何で減っているのかということを考えながら、「現状こうするしか仕方ない」というだけで答申を出していくと、ここ（協議会）の性格というのはなかなか、自分も前回から出ていて、何を考えるところなのかと自分の中でも結論は出ていないんですけども、その辺も踏まえての議論を希望します。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>協議事項（３）のみについてご意見を賜っているところですけども、（４）についてもご意見等お聞きしたいと思えます。</p>
<p>松本委員</p>	<p>私、滝野校のPTA会長をしています松本といいます。</p> <p>諸先輩方の前で僕は何を言った方がいいのか、何を言うべきなのか迷うところもあるわけですが、まず滝野校の統合問題について。確かに西田さんが言われたとおり、「地域が廃れていく」というところも考えなきゃいけないかもしれないですけど、我が子も滝野校に通学しています。</p> <p>子どもたちを見て、成長を見て、今後世の中に出ていくために何を勉強したらいいのか、何を身に付けておくべきかというところを考えると、やはり大人数のところではいろんな意見を聞いて、そこから自分の意見がちゃんとしっかり言えて、というところを養っていきたいというのが親としての</p>

	<p>意見です。会長としての意見ではなく、親としての意見と思って聞いていただければ助かります。</p> <p>学校に通うのは子どもたちなので、子どもたちが大きくなった時に、何を身に付けておかないといけないのかというのを考えて勉強させていくべきだと思っています。</p> <p>ですから、滝野校の統合に関しましては、僕の意見としては、通学の方法だけクリアできれば、統合してもいいんじゃないか、統合すべきなんじゃないかと思っています。</p> <p>むしろ、町内だけでは、方針が出ていましたとおり、小学校で120人程度は必要とか、もしかしたら東山代町内だけではクリアできないかもしれない。</p> <p>そういうことを考えると、校区を取り払った学校が必要になってくるんじゃないかということも考えたりもして、飛躍しすぎかなとも思いますが、考えていたところです。</p> <p>皆さんで考えていただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にありませんでしょうか。</p>
<p>西委員</p>	<p>市小中学校連合会の西と申します。</p> <p>山代東小学校のPTA会長をしております。</p> <p>山代町内の状況を、松本さんが言われたようにお伝えしますと、山代東小学校と（山代）西小学校がありますが、いよいよ、波多津小学校と波多津東小学校が3年前でしょうか、統合されてから、市内の同じ町の中に複数の小学校があるのが山代だけということになりました。</p> <p>その中で、やはり、親の立場として言うと、松本さんと同じ意見になりますが、山代中学校の1年生に長子がいます。</p> <p>中学校で初めて、（山代）西小の子と一緒になるということで、できることならば、山代小学校ということで、初めから、小学校から培った関係があったらよかったねとか、今から（中学校から）また初めましてというのはちょっと、思春期という時期もあって、友達関係を築くのに恥じらいとか</p>

そういうものもあって。

ですから、近い将来、山代小学校に統合ということになるかと思いますが、親として、交流環境とかを考えた時には、少数で丁寧なという授業も大切かと思いますが、数の中でコミュニケーション能力を身に付けたり、社会性を身に付けるということが大切ではないかと感じております。

こういう中でひとつ思うのは、スクールバスの配備というところが親としては安心できる要素でもあります。

私自身は、もともと多久の生まれ育ちでして、多久市役所に14年ほど勤めておりました。

多久は、今から10年ほど前でしょうか、小中一貫ということで、市内一円をスクールバスが(走る)、もともと市内の巡回バスが、そのままスクールバスになりましたので、ぜひ、そういう校区の垣根を越えた総合的な環境の整備というものを進めていただきたい。

細かいことですが、こういう事例もあります。

山代中学校は小規模な中学校で、部活動が男子2種目、女子が2種目ということで、限定的になりました。

そういうことで、ジュニアバスケットを熱心に行っていた山代東小学校の6年生は、バスケットがしたいという理由で、国見中学校に行ったということもあってるので、そういった意味で問題が山積しているなというのを感じています。

私が今まで言ったのは、子を持つ親としての具体的なお話を、すいません、報告させていただきました。

そういう中で、今後は、統合の必要性は大いにあるかと思いますが、そのことだけではなく、総合的な政策、支援というのが必要じゃないか、端的にいうとスクールバスの配備。

また、統廃合後の施設の利活用もどうなるのかなと気にしております。

私自身、今回初めて参加させていただいて、このような場で議論させていただきすけれども、今回は滝野の話ですが、しかしそうなった時(山代の統廃合の話になった時)の方向性というのと、統合になった時の空き施



	<p>設の利活用というところですよ。</p> <p>そういうところをぜひ教えていただきたいな思っているところです。長くなりましたが以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も以前、多久市に行ったときにびっくりしたことがあるんですけども、スクールバスが十数台いたもんだから驚きました。</p> <p>考えてみますと、多久の場合はすべて小中一貫校になっていますからね。</p> <p>それと、玄海町も原発関係でお金を持ってありますので、あそこは大型バスで児童生徒を送迎しているようです。バスが大きくてびっくりしました。</p> <p>現在、波多津の方も小学校が統合しまして、スクールバスが小学校2台、中学校1台、それにコミュニティーバスを動かしておりますので、それだけ辺鄙なところですので、子どもたちはバスで登校している状況でございます。</p> <p>統合するということになれば、教育委員会もスクールバスの配置については検討していただけるだろうと思います。</p> <p>うち（波多津町）の方も、国の経費で動いているという状況でございます。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。</p>
松尾哲司委員	<p>市区長会連合会の松尾です。</p> <p>先ほどから統廃合の話がっておりますけれども、私は立花校区になりますが、逆に生徒数が増えているんですね。</p> <p>世帯数も考えますと、立花の中で、渚、富士町、南ヶ丘というところだけで、100から200世帯増えてくるという状況にあるんですね。</p> <p>大川内にしましても、今計画段階に上がっているのが、100から200世帯の分譲地が出るという状況で、逆に（児童生徒が）増えるということになります。</p> <p>立花小学校、大川内小学校、それから大坪小学校になろうかと思いますが、生徒数が増えるにあたって考えていたんですが、知的障害、特別支援（教室）の生徒が増えているわけですね。</p> <p>そうすると、既存の校舎だけでは（教室が）不足するような状況になって</p>

	<p>くる学校もあるということも頭の中に入れていただいて、特別支援教室の確保ということについては今後話に出てくるのではないかと、その辺も検討をしてほしいなど。</p> <p>立花小学校は既に校舎が足りておりません。二里小学校からプレハブの校舎を持ってきたという状況です。今後も増えていくような状況です。</p> <p>その辺の市教育委員会の考え方はいかがでしょうか。</p>
会長	<p>児童数が減っているだけじゃなく、逆に中心部の学校は増加の一途をたどっていると、そのことについてどう考えているかということでした。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>先ほどから、児童生徒数の減少に伴う統合問題について審議がなされておりましたが、私どもとしましては、今おっしゃったように、立花小学校は、児童数が増えている。それから、他の学校についても、特別支援学級が増加傾向にあります。</p> <p>それに伴い、教室の問題が出てきていることは十分理解しているところです。</p> <p>ですから、本協議会の中で、全市的に見渡して、児童数が増加をしていくその時に、例えば分離すべきではないかとか、校区を見直すべきではないかとか、そのような議論がされていくのではないかと思います。</p> <p>そのあたりについても、委員の皆様から様々なご意見をいただきながら、答申に盛り込んでいただき、教育委員会でも検討して参りたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>滝野の問題と同時に、伊万里市の小中学校全体のことでも考えなければいけませんので、児童数が減っているところもあれば増えているところもあるということですので、市全体のことでも考えなければならぬと思っているところです。</p> <p>たくさんの方からいろいろご意見（いただき）ありがとうございました。</p> <p>そろそろお時間も迫ってきておりますので、今日のところはこの辺で閉めたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
森委員	<p>この場のメンバーについてなんですけれども、東陵中校区からは私1人なんですけど、資料12ページを見ていただいたらわかりますが、大川小学校</p>

	<p>と松浦小学校が群を抜いて老朽化が進んでおりまして、東山代小学校は(改築が)決まっておりますので、おそらく次は自分たちの校区かなという認識でいますが、それと安全問題も絡めて考えていかなければならないと思っ て出席しています。</p> <p>当然、大川町、松浦町の町民の方が、それなりのご意見をお持ちで、やはりそれぞれの町の意見というのは、やっぱり各町の方でないと取り上げられないと思いますので、ぜひ、大川町からも、東陵校区として委員を増員していただきたいと思います。</p>
会長	<p>委員の増員についてのお願いでした。</p> <p>前回は波多津小学校と(波多津)東小学校が統合するということでしたが、私は青嶺中学校学校評議員という立場で参加してですね、統合するという答申が出たような感じですね。</p> <p>そういうことで、それぞれの地区からということも一理あるかもしれませんが、伊万里市全体のことを考えてどうするかということで、それぞれの団体から代表の方に来ていただいておりますので、松浦、大川の方も気にはなるところではございますが、委員の方から「こういう風に話が進んでいる」ということを意見として言っていただけるとありがたいと思います。</p>
墨谷委員	<p>よろしいですか。</p> <p>大川小学校校長の墨谷です。</p> <p>今の市全体をというご意見をいただいてですね、一言申し上げたいと思います。</p> <p>今年度から大川小学校に赴任しましたけれども、まず驚いたのが、校舎の老朽化でございました。</p> <p>前回建て替えてから53年が経つということで、教室が雨漏りしていたりする状況でございます。</p> <p>窓等も錆びて開けられないという教室もあるような状況で、今、市の方では雨漏りの工事もしていただいていますし、対応はしていただいていますけれども、応急的な処置ということで、根本的な工事となるとかなりの費</p>

	<p>用がかかるという状況でございます。</p> <p>市全体を見ますと、伊万里中学校、東山代小学校の工事を控え、それを待っています。大川小はいつになるのかなと。とても待てるような状況ではないというのが現状です。</p> <p>子どもたちの安全な学習環境を整える上で、緊急的な場面もあるのかなと。どうい方法が一番良いかわかりませんが、こういう学校があるということも視野に入れて協議していただければと思います。</p>
会長	<p>校長先生の方から、学校の設備のことについてご意見がありました。</p> <p>全部の地区から委員さんは入っておられませんが、それぞれの団体の代表者で構成されておりますので、帰られたら関係者の方に、協議会の様子なり、進捗状況などをお話しされ、意見を吸い上げて、次（第2回）に出席していただけると良いんじゃないかならうかと思ひます。</p>
坂本浩幸委員	<p>会長さんすいません。</p> <p>今までと論点が違う話をしたいと思ひますが、今学校の先生が不足しているというのは皆さんご存知でしょうか。</p> <p>例えば伊万里中学校なんかは、今年の4月時点で教員が3人足りていない状況です。</p> <p>現時点でも、学級数に応じた職員数がついていません。</p> <p>こういった中で、職員が病気とか産前休暇など取った場合に、代わりに来る先生もいない状況なんですね。</p> <p>こういう状況になっているというのは、一つは特別支援学級がかなり増えてきていると、(特別支援学級の生徒の)人数が少なくとも1人の先生が対応をしないとイケない。</p> <p>それから、以前に比べて学校が適正規模じゃないわけですよ。</p> <p>小さな学校でも、例えば学級数が6クラス、ある程度人数がいても6クラスあったら先生の数は一緒なんですよ。</p> <p>だから、先生1人あたりの児童生徒数が違うだけであって、同数の学級数があれば同数の先生が必要になると。</p> <p>今、伊万里も含めて全国的に小さい学校が増えてきているわけですよ。</p>

	<p>そういった中で、かなり先生の数が不足していると。しかも、不足している状況の中で、学校の教員はブラック企業みたいな働き方をしている、教員の成り手も少ないんですね。</p> <p>そういうことで、今後ますます、学校の適正規模にならなかつたら、ますます教員が減っていく、不足してくると思います。</p> <p>伊万里市内でも小学校の先生が足らなくて、中学校の先生が小学校に応援に行っている状況もあるし、1人の先生が複数校の授業を教えていることもあるんですよ。</p> <p>そういった状況であるというのを考えていかないと、学校の適正規模での議論というのは出てこないんじゃないか。</p> <p>平等な教育とか地域性とかいろいろありますけれども、実際物理的に先生が不足している状況ですので、この辺も論点にしてもらいたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。</p> <p>たくさんの方からご意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>これで一応協議の方を閉じたいと思います。</p> <p>8番の議事録署名人の指名となっておりますが、本日は第1回ということもありますので、会長、副会長で議事録署名をさせていただきたいと思っております。それでよろしいでしょうか。</p> <p>(賛同の拍手)</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>9番のその他、次回開催予定ですが、(令和元年)10月21日、時間は14時です。後でご案内が来るかと思えます。</p> <p>それでは、これを持ちまして、第1回伊万里市立学校規模適正化協議会を閉会したいと思います。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
	<p>&lt;&lt;閉会&gt;&gt;</p>